

(様式第4号)

第11回上田左岸地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田左岸地域協議会
2 日時	令和5年2月16日 午前10時00分から正午まで
3 会場	城南公民館 大ホール
4 出席者	赤堀委員、浅川委員、小熊委員、倉島委員、小林委員、小山委員、清水委員、田中委員、田村委員、富田委員、西入委員、樋口委員、松田委員、宮坂委員、宮崎委員、宮下委員、安江委員、山岸委員、和田委員
5 市側出席者	【事務局】滝沢城南地域振興政策幹、間宮塩田地域自治センター長、藤沢川西地域自治センター長、片山地域内分権推進担当係長、滝沢地域内分権推進担当主査、城下地域内分権推進担当主査、村山地域内分権推進担当主査、芳池地域内分権推進担当主事 【生涯学習・文化財課】上原生涯学習・文化財課長、山田生涯学習係長、古平文化財保護担当係長、谷口文化財保護担当主査
6 公開・非公開	公開・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開・非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和5年2月20日

協議事項等

次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項

(1)旧西塩田小学校施設の譲渡について【生涯学習・文化財課】

生涯学習・文化財課から資料を基に説明

以下、質疑応答

(委員)現在の生徒数はどれくらいか。

(生涯学習・文化財課)令和4年5月時点で、上田校舎に134人が在籍しており、内88名が上田市在住である。

(委員)塩田まちづくり協議会でも、塩田の館をどうしていくか協議を重ねているが、よい案が出てこないのが現状である。素人のまちづくり協議会が管理、運営をして稼ぐことは難しく、余計に市の負担が増えてしまう。今回の案がよいモデルとして広がればよい。

塩田中学校の評議会に参加していた時、不登校生徒の多さに驚愕した。小学校から不登校になっている子どもがあまりにも多い。その受け皿として、自主的に子どもが自立していける学校になれば上田市にとっても素晴らしい事業になるのではないか。

(生涯学習・文化財課)これまでは市の土地をお貸しして、建物は所有して運営いただいていた。いろいろな形で地域に貢献いただいていた。今回の譲渡において、より一層学校として地域に根付いた運営をしていただきたい。引き続き、グラウンド、南校舎は市で管理をして見守っていきたい。

(委員)さくら国際高等学校は教育の面でも重要な役割を担っているが、建物としても価値があり大事にしていきたい存在である。今回木造校舎が2つ建設されるということだったが、周辺には手入れが必要な森林がたくさんあるので、木材調達についても市内で完結できるように、森林整備課と連携を図って踏み込んでい

ただきたい。地元の資源を使って、地元の教育に役立てるという意味でも、モデルケースになっていただきたい。

(生涯学習・文化財課) 建築する 2 つの木造校舎については学校側で決めることだが、市として要望は伝えさせていただきたい。県内の木材は最低限使っていきたいとは学校側から聞いている。

(2) 上田市文化財保存活用地域計画について【生涯学習・文化財課】

生涯学習・文化財課から資料を基に説明

以下、質疑応答

(委員) 稼ぐ観光が必要であるがその視点が抜け落ちている。稼いだお金で多くの方に来ていただいて、住んでよし、訪れてよしのまちを構築し、後世に素晴らしい文化財を残していく。そのためには地域で稼がないといけないが、そこがいつも抜け落ちている。

塩田平が日本遺産の認定を受けたので、上田電鉄別所線の黒字化を図りながら地域活性化ができると期待したが、未だに進んでいないのが現状である。4 月から観光、文化、スポーツが一緒になるという組織改革をするということなので、念頭に置いて進めていただきたい。

(生涯学習・文化財課) お客さんと呼んで地域活性化することが肝の部分である。市としても 3 年間基盤整備を進めてはいるが、なかなか実のあるところに結びついていない。

どうしたらお客さんに来てもらえるか、より観光課とも連携して、文化財の面からも関わって一緒に考えていきたい。

(3) 令和 5 年度わがまち魅力アップ応援事業選考審査

【事務局から資料を基に説明】

「柳沢自治会」－採択

「石神自治会」－採択

(委員) 石神自治会の予算を見ると、碑を建立することが読み取れるが、選考申込書の事業内容に記載がないので、わかるようにしておいた方がよい。

(4) 各分科会協議「第 1 分科会」「第 2 分科会」「第 3 分科会」

上田左岸地域の課題について

分科会ごとに分かれて意見交換

【第 1 分科会：自治・まちづくり】

調査研究テーマについて協議

・調査研究のテーマ「上田市のまちづくりに関する補助金等の検討」について、自治会や住民自治組織に交付されている補助金、交付金の交付要綱等を使い制度の内容について学習を行った。

・次回以降は、制度の使いやすさや対象となる事業範囲等について課題を出し合い、対応策としての制度の改善について検討を行うこととなった。

【第2分科会：子育て・福祉・教育】

調査研究テーマについて協議

- ・2月19日にみんなの塩田食堂を視察し、代表やボランティアスタッフから話を伺うこととなった。
- ・視察の際、実際に提供されているお弁当をいただけることとなった。
- ・みんなの塩田食堂の参加費はこども無料、大人は1人300円、寄付という形で必要となる。
- ・みんなの塩田食堂では長野大学生が、こどもとの遊びや学習支援を行っている。

【第3分科会：産業・地域振興】

調査研究テーマについて協議

第二次上田市総合計画「後期まちづくり計画」について政策企画課から説明

- ・各編の概要について
- ・分科会に関する「第3編産業・経済」分野の農林業、商工・サービス業、観光の振興について

以下委員からの主な意見

- ・上田市にはこれといったブランドとなる農産物がない。
- ・指標の中に「市内路線バス輸送人員数」があるが、唯一基準値より目標値を低く設定してあるのはなぜか。
- ・合併以降豊かな森林面積が増えたが、山を活かした稼ぎができていない。
- ・市内への就職促進など市からの情報提供はあるが、市外在住者に届いていないのではないか。市の発信力が低いのではないか。

4 その他

次回の開催予定

日時 3月16日（木） 午後1時30分から

場所 塩田公民館 大ホール

5 開会